

第2回 横浜市港南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和6年3月22日(金) 午前9時30分から11時45分まで
開 催 場 所	港南区役所6階602会議室
出 席 者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長代理 中野 しずよ (認定NPO法人市民セクターよこはま 理事)</p> <p>委員 阿曾 弘美 (丸山台自治会会長)</p> <p>石川 正二 (港南区(兼ひざり地区)保健活動推進員会会長)</p> <p>利根川 和代 (ひざり地区社会福祉協議会会長)</p> <p>松岡 祥平 (中小企業診断士)</p> <p>宮島 由美子 (ひざり連合自治会会長)</p> <p>和田 弘 (ひざり地区民生委員児童委員協議会会長)</p> <p>【事務局】</p> <p>港南区福祉保健センター長 小林 仁</p> <p>福祉保健課長 佐藤 潤</p> <p>高齢・障害支援課長 松月 美雄</p> <p>福祉保健課事業企画担当係長 代田 泰大</p> <p>福祉保健課事業企画担当 鈴木 梨紗、浦田 賢</p>
欠 席 者	有り(横倉 聡(東洋英和女学院大学 名誉教授))
開 催 形 態	公開※一部非公開(傍聴者なし)
議 題	<p>1 応募団体の面接審査</p> <p>(1) 事前確認事項、財務状況評価の説明</p> <p>(2) 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査</p> <p>2 指定候補者の選定、講評</p>
決 定 事 項	<p>指定管理者の候補者(以下「指定候補者」という。)及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者(以下「次点候補者」という。)として、次のとおり、横浜市港南区長に報告することとする。</p> <p>1 横浜市日限山地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者</p> <p>指定候補者:社会福祉法人同塵会</p> <p>次点候補者:該当なし</p>
議 事	<p>1 応募団体の面接審査</p> <p>(1) 事前確認事項、財務状況評価の説明</p> <p>事務局から、公募の結果1団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の3点について確認した。</p> <p>○面接審査の進め方及び質問項目の確認</p> <p>(事務局)</p>

- ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。
- ・1施設に対して1団体のみの応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。

○応募団体の資格要件等について
(事務局)

- ・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。
- ・欠格事由に該当しないことを報告。

○財務状況評価について

松岡委員より財務分析結果報告書について説明。

(2) 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 地域ケアプラザは福祉避難所になっているが、発災時にどう動くのか。

(団体) 横浜市と協定を結んでいて、協定に沿って非常用の食糧等を備蓄している。区役所の要望に応じて受け入れられるよう体制を築いていきたい。

(委員) 日限山地域ケアプラザでは元気づくりステーション、体操教室を開いているが、人気が高く、定員超過で参加できない人がいる。今後、活動を増やす予定はあるか。

(団体) 元気づくりステーションは現在3つ開催している。現状、入れ替わりがあるので増やす予定はない。定員超過で参加できないという状況が続くようであれば検討する。

(委員) 会議室の稼働率について、調理室の利用が低いが対策は考えているか。また、夜間利用の稼働率向上に向けて考えはあるか。

(団体) 調理をする団体を育成していこう、子ども食堂ができたらいいな、という思いから始まり、OECカフェができた。夜間利用は学習支援を週2回、区主導で開催している。夜間利用の稼働率を上げるには、夜間利用する団体を育成する必要がある。

(委員) (応募団体の配布資料に記載の) 地域包括支援センター事業の相談件数、介護保険事業の実績に関するグラフの説明がほしい。また、貸館の利用率を46%から55%に上げる策はあるのか。

- (団体) 地域包括支援センター事業の実績について、令和4年度は職員の欠員があり件数が少なくなった。介護保険事業のケアプラン作成数については、新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度は落ち込み、その反動で令和4年度は増えた。令和5年度は少し落ち着いた。どこの事業所も同じような推移をしている。利用率の向上については、貸館の周知、利用団体の育成、自主事業の展開、この3つに尽きると考えている。利用率が下がっているのは調理室と夜間なので、そこをしっかりとやっていく。
- (委員) 横浜市で行っている「よこはまシニアボランティアポイント事業」において、移動販売に参加した際もポイントがつかいたらと思っているが、考えを聞きたい。
- (団体) 移動販売の会場に近い施設に共同事業者になってもらうなど検討はしているが、結論には至っていない状況。地域の皆さまと一緒に考えていきたい。
- (委員) 事業計画書の財務状況について、数値を把握した上で、活用までしているのか。
- (団体) 法人の中に地域ケアプラザ担当や特別養護老人ホーム担当など、部門別に担当の経理職員がいる。経理に関する課題に関しては、経理担当や所長会で相談、議論をしている。
- (委員) ヤングケアラーなどの地域で抱える諸課題の解決に向けて、どのように地域の方々に協力していただいたり、ボランティアグループを作ったりしていくのか、考えがあれば教えてほしい。
- (団体) ひぎり地区の場合は、すでに助け合いネットワークという強力な組織があり、地域でお困りの方を発見し支援する方々がいる。実際にヤングケアラーの事例もある。地域ケアプラザと地域と区役所で検討会を開いている。
- (委員) 「よこはまシニアボランティアポイント事業」について、ポイント券を作るのはどうか。
- (団体) 以前に検討したことがあるが、地域の方の負担が増えてしまうため、実施には至らなかった。
- (委員) 生活支援体制事業に協議体という言葉がよく出てくるが、ひぎり地区社会福祉協議会も協議体の一員という認識でよろしいか。
- (団体) おっしゃるとおり。メンバーの一員というよりは主要メンバーと認識している。

2 指定管理者の候補者の選定、講評

応募者から提出された応募書類及びプレゼンテーション等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計した。

横浜市日限山地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人同塵会	1,038／1,500点	1,034／855点
次点候補者	該当なし		

(審査講評)

- ・地域だけで解決できない問題があるときに地域ケアプラザに相談をすると、必ずなんらかの解決策を見つけてくれ、すごく助かっている。
- ・災害時に地域ケアプラザは福祉避難所になるが、実際にどう動けばいいのかわからない不安がある。具体的なシミュレーションが必要。
- ・丸山台地区はひざり地区から少し離れている。地域が違うので、地域ケアプラザとの関わりがひざり地区ほど濃くない。事業計画書を見ても、ひざり地区が中心になっており、丸山台地区としては、いい評価をつけづらい。今後、圏域の見直しがあるか分からないが、地域はひとつの地域ケアプラザに収まるのが望ましいと思う。丸山台4丁目も上永谷駅前地域ケアプラザの圏域に入り、地域ごとにサービスを提供していただくことが理想であると、この場を借りて区役所にお伝えしたい。

指定候補者の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人同塵会を指定候補者として選定することを決定した。

資 料
・
特 記 事 項

1 資料

- (1) 指定管理者の選定における市税納付状況確認の照会結果について
- (2) 回答書（暴力団又は暴力団経営支配人等でないことの確認）
- (3) 財務分析結果報告書
- (4) 面接審査の進め方について

2 特記事項

特になし